

いかるが

No.62

議会だより

平成21年(2009年)11月1日

発行 斑鳩町議会
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号
電話 0745-74-1001
FAX 0745-74-1011
電子メール:gikai@town.ikaruga.nara.jp
発行人 議会議長 中西 和夫
編集 広報発行常任委員会



コスモスと法起寺

9月定例会

- 平成20年度決算を認定…………… ②ページ
- 9月定例議会ではこんなことが決まりました…………… ⑤ページ
- 9人の議員が一般質問を行いました…………… ⑧ページ
- 委員会のうごき…………… ⑭ページ

苦しい財政でも、温かい町政の充実をめざそう

平成20年度 決算を認定

本会議より付託を受けました平成二十年斑鳩町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算を審査するため、九月七、八日の二日間にわたり、予算決算常任委員会を開催しました。決算審査の質疑では、委員からさまざまな質問や意見が出されました。今回は、その概要をご報告します。

委員会では、監査委員より一般会計及び各特別会計については、それぞれ関係法令に準拠して調整され誤りがないものと認められたこと、また各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されていると認められたとの報告を受けました。

委員会では、この報告の後、決算の認定のための審査を行いました。

一般会計

実質的な収支額は、三億九千六百五十七万円の赤字になりました。

歳出

歳出決算額は、前年度よりも一億九十六万円減少しています。

増減額の大きい費目は、
・ 地域活性化・緊急安心
・ 実現総合対策事業費などが増加。（総務費）

歳入

自主財源の中心である町税は、前年度と比較して、固定資産税、軽自動車税、都市計画税が増加したものの、町民税、たばこ税が大きく減少したことにより、町税全体で、前年度より六千八百九十二万円減少しています。

衛生処理場維持補修費、鳩水園維持補修費及び施設改良費が増加。（衛生費）
・ 土地改良事業費などの増加（農林水産業費）

平成20年度 決算総括表

会計別	歳入	歳出	
一般会計	88億 103万円	82億9,785万円	
特別会計	国民健康保険事業	28億4,926万円	34億1,497万円
	老人保健	2億4,938万円	2億5,348万円
	大字龍田財産区	455万円	31万円
	公共下水道事業	17億1,611万円	17億1,611万円
	介護保険事業	15億2,795万円	15億 163万円
	後期高齢者医療	2億5,860万円	2億5,755万円
合計	154億 688万円	154億4,190万円	

(1万円以下 四捨五入)



生き生きプラザ斑鳩

- ・ 減少額の大きい費目は、昭和五十七年に借り入れた学校建設用地取得事業債、平成八年・九年に借り入れたふるさとづくり事業債の完済により元金・利子が減少（公債費）
- ・ 生き生きプラザ斑鳩の建設事業費の減少（民生費）
- ・ JR法隆寺駅周辺整備事業費の減少（土木費）
- ・ シルバー人材センターの事務所建築工事費の減少（商工費）

Q & A

財政力は改善傾向か？

Q 年々上がっている財政力指数について、喜んでいいのかが。

A 計算式があり、それをもとに出した数字であり、財政力は着実に良くなっています。

Q 連結実質赤字比率のところで、財政再生基準は四十％となっているが、二十年度は三十五％と言われたが、四十％でよいのか。

A 市町村は三十％とされているが、三年間は経過的な基準があり、平成二十年度、二十一年度は決算基準は四十％です。

認定

審査の結果、一般会計決算については、当委員会として、満場一致で認定すべきものと決しました。

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計は、五億六千五百七十万円の内歳入不足となりました。このため、平成二十一年度の国民健康保険事業特別会計から不足分を繰上充用しました。

Q & A

国民健康保険事業の健全運営を

Q 国民健康保険税を増税したことによる成果は？

A 平成二十年度に保険税の率が二十％から二十五％に値上げし、その分は増えたものの、七十五歳以上の人が後期高齢者医療制度に移行されたことにより、七十五歳以上の方の掛け金が多くなって、それらを相殺しますと、保険税の収入は、平成十九年度より約八千万円減りました。

Q 平成二十年度の国民健康保険税の滞納額・滞納累積額はどうなっているか。

A 平成二十年度の単年度では、六千四百万円の滞納があり、累積額は二億八千九百万円弱です。

税の公平性の観点からも、滞納者の財産状況を調査し、厳しく滞納整理を進めてまいります。

反対意見

一般的な被保険者には二十数％の値上げとなる一方で、限度額を超える高額所得者は、四・六％の増にしかならず、もっと公平な所得に見合う保険税の決定を求める。特定健康診査についても、目標数値を達成できなければ、ペナルティが課せられることについては、受け入れがたい。また実際の受診率も、町が掲げる目標と大きくかけ離れており、今後、努力をしていただきたい。平成二十年度は一般会計から九千三百万円が繰り入れられるという英断を

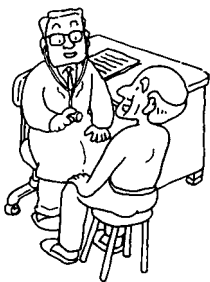
されているが、町としても国に対し、住民の暮らしや健康を守るために、制度改正と費用負担を元に戻すよう引き続き要望をしていた。

賛成意見

平成二十年度の国民健康保険事業特別会計は、新たに後期高齢者医療制度への支援が行われることとなり、その財源として国保税が引き上げられました。国保は、なお大きな赤字を抱えており、依然として厳しい財政状況にあり、町には今後とも本特別会計の現状を十分認識され、特定健康診査等、積極的な実施によって医療費の抑制を図り、また更なる未納者対策を強化されるなど、あらゆる方策を尽くして財政の健全化に努力されますことを期待します。

認定

このように反対意見・賛成意見がありました。採決の結果、当委員会として、賛成多数で認定すべきものと決しました。



老人保健特別会計

平成二十年四月から、医療給付等を後期高齢者医療制度に移行しました。移行前の診療分の月遅れ請求による医療の給付が行われませんでした。

認定

審査の結果、老人保健特別会計決算については、当委員会として、満場一致で認定すべきものと決しました。

大字龍田財産区特別会計

実質的な収支額は、四百二十四万円の黒字になりました。引き続き、財産区財産（下司田池）の適正な管理に努めるとのことでした。

Q & A

財産区の将来の展望は？

Q 今後の財産管理と、将来の処分等について、町はどのように考えているの

A 現在行っている管理方法でやっていきたいと考えています。処分等については、今のところ、考えていませんが、そのような時機がくれば判断をしなければならぬと考えています。

認定

審査の結果、大字龍田財産区特別会計決算については、当委員会として、満場一致で認定すべきものと決しました。

公共下水道事業特別会計

収支額差し引きゼロ円でした。公共下水道は、事業認可区域およそ二百四十五ヘクタールのうち、百四十九ヘクタールで三千四百九十四戸が利用可能となり、そのうち千七百一件が公共下水道をすでにご利用いただいています。

Q & A

公共下水道が整備されない地域への対応は？

Q 最終的に公共下水道が整備されない地域の生活排水については、どのような対応を考えていますか。

A 公共下水道区域外については、合併処理浄化槽による補助金による設置が行われるものと考えています。

認定

審査の結果、公共下水道事業特別会計決算については、当委員会として、満場一致で認定すべきものと決しました。

介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計は、二千六百三十二万円の歳入超過となりました。このうち、国庫支出金などは実績に応じて、平成二十一年度会計で償還することになっており、その他は、介護保険給付費準備基金に積み立てられます。

認定

審査の結果、介護保険事業特別会計決算については、当委員会として、満場一致で認定すべきものと決しました。

後期高齢者医療特別会計

急速な高齢化に伴い、医療費の増加が見込まれる中、平成二十年四月から新たな医療制度として「後期高齢者医療制度」が開始されました。

運営主体は、県下の全市町村で構成する「奈良県後期高齢者医療広域連合」で、市町村は保険料の徴収や各種申請の受付等を行っています。

平成二十年の後期高齢者医療特別会計は、百五万円の歳入超過となりました。超過分は出納整理期間中に収納した保険料であり、これについては、平成二十一年度会計に繰り越しし、広域連合に納付することと、清算することとなっています。

反対意見

七十五歳以上の高齢者を無理やり別立ての保険に押し込めて、必要な医療を受けさせないようにする、医療費の削減ありきでつくられた制度です。保険料を払わなくてよかった人も徴収されており、早く廃止すべきものであると断言します。

賛成意見

この特別会計においては、この制度の是非ではなく、国が定めた事務をどのように執行したかであり、その意味から適正に処理されていると認められるものであり、特段反対する理由もなく、賛成するものです。

認定

このように反対意見・賛成意見がありました。採決の結果、当委員会として、賛成多数で認定すべきものと決しました。

(木田委員長記)

9月定例議会では こんなことが 決まりました

平成二十一年第四回定例議会は、八月三十一日から九月二十五日までの二十六日間の会期で開かれ、平成二十一年度一般会計歳入歳出決算の認定など、十五議案を原案のおり可決・認定・承認しました。

また、二件の陳情があり、いずれも継続審査となりました。

その他、人事案件一件について同意し、報告事案三件について報告を受けました

	案 件	結 果
条 例	斑鳩町立学童保育室条例の一部を改正する条例について	満場一致で可決
	斑鳩町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	
予 算	平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）について	満場一致で可決
	平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	
	平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	
	平成21年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	
	平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算（第2号）について	
	町長専決処分について承認を求めることについて（平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第3号）について）	満場一致で承認
決 算	平成20年度斑鳩町一般会計歳入歳出決算の認定について	満場一致で認定
	平成20年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数で認定
	平成20年度斑鳩町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	満場一致で認定
	平成20年度斑鳩町大字龍田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数で認定
	平成20年度斑鳩町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	満場一致で認定
	平成20年度斑鳩町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数で認定
	平成20年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数で認定
人 事	斑鳩町教育委員会委員の任命について同意を求めることについて	満場一致で同意
報 告	議会の委任による町長専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	報 告
	議会の委任による町長専決処分の報告について（平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）について）	
	平成20年度斑鳩町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書の報告について	
陳 情	公共下水道事業に関する陳情書について	継 続 審 査
	請願書について	継 続 審 査

6ページに賛否の討論

6ページに賛否の討論

7ページに賛否の討論

9月30日の任期満了に伴い、新たに川本博氏を任命することに同意しました。

14ページに関連記事を掲載。

15ページに関連記事を掲載。

平成20年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対意見】 里川 議員

2年連続値上げとなったこの特別会計については、予算のときから反対をしている。現在では、職を失った人の受け皿、健康保険が整備されていない条件で働く若者たちの加入など、財政基盤の脆弱ななかでの運営は非常に厳しいものがある。その上、今回の値上げは、多くの反対を押し切って進められた後期高齢者医療制度への支援金分として、新たな値上げとなったものである。高額所得の限度額超過となる人の値上げはわずか4.6%に過ぎず、一般的な所得の加入者の値上げは、平均すると20%を超えるものである。これまででも負担能力を越えている保険税が、ますます高くなって、払いたくても払えないという未納者を増加させてしまうのではないかと懸念している。

また、特定健診はメタボリックシンドロームに片寄ったもので、国・県の負担は3割しかなく、7割を町で負担しなければならない。これでは、国の言うように、実施率を上げれば上げるほど会計は苦しくなる。しかも、国の目標数値を達成しなければペナルティが課せられるというシステムも納得できない。政権交代となり、国民健康保険制度がどうなっていくのか、情報を早くキャッチして、問題点を国に対して要望していくべきである。

【賛成意見】 紀 議員

平成20年度は、後期高齢者医療制度が始まるなどの医療制度改革により、国民健康保険を取り巻く環境が大きく変わった年でした。この特別会計においても、被保険者の変動や、新たな負担金、交付金の設定などがあり、これまでとは内容が大きく異なったものでした。このようななか、平成20年度の決算は、およそ5億6,500万円の赤字決算で終わっています。依然として多額の累積赤字を抱えた状況であることに変わりはありませんが、単年度で見ると約8千万円の黒字となっており、前年度決算から累積赤字を減少させることとなりました。このなかには、被保険者の負担増となるものもありましたが、一般会計から国保制度を支援するなど、国保財政の健全化に向けて努められており、一定の評価ができるものと考えています。このようなことから、国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成できるものと考えます。

今後町には、特定健診や保健指導の推進、また未納者の対策の強化などに努めていただき、国保財政のさらなる健全化を図りながら、地域住民が安心して医療を受けられるよう、一層努力していただくことを要望します。

平成20年度斑鳩町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対意見】 西谷 議員

斑鳩町の公共下水道事業について、反対の立場から意見を申し上げます。まず町内を歩いて感じたのは、住民の公共下水道事業に対する不信感です。なぜ平成3年から公共下水道事業を進めながら、あと何年したら町民の皆さんに排水設備工事の負担をかけますので、今から準備しておいてくださいという説明をしなかったのか。次に、公共下水道は総額430億円の大規模事業費にもかかわらず、なぜ次々と公共施設を建設し続けるのか。また、町が負担しなければならない町の公共下水道工事費まで、受益者負担という名目でなぜ住民が負担させられるのか。また一方、町認定業者が雨水ますと公共ますを間違えて排水管を接続し、その結果年間もし尿が垂れ流し、それでも町はその業者に何の処分もしないという町の姿勢です。

その結果、町がいくら下水道工事を進め公共ますを設置しても、町民は公共下水道に接続しないという現状です。これでは町の収入となる下水道料金は増えず、町の借金が増えるだけです。町民の信頼を取り戻し町民の負担を軽減することこそが、下水道事業推進の早道です。よって、町民の声を反映しないで推進する公共下水道事業決算には反対いたします。

【賛成意見】 辻 議員

公共下水道は、大和川など公共水域の水質保全と生活環境の改善に取組む重要な施策です。

下水道条例については、県下市町村の実態と町の今後の財政計画など、あらゆる資料を分析しながら当時議会において満場一致で賛成されております。

また、反対されている議員も賛同されており、一部の住民から説明を求められても、慎重に審議してきたことを住民に説明できないのは恥ずかしい思いであります。

また、配管工事の誤りについても委員会で調査内容の報告を受け、解決したことを、なぜ反対意見として言うのか分からない。

公共下水道事業の推進にあたっては、必要な財源である、国庫補助金、地方債、加入負担金、下水道使用料などの収入を確保し、適正に執行されており、今後、一般会計からの繰入金や、起債における元利償還金の返済などの課題に対応するためにも、公共下水道事業特別会計においては、今以上に公営企業会計を目指した健全な下水道事業経営を図っていただくようお願いいたします。

平成20年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対意見】 里川 議員

国民皆保険の制度の国では例を見ない制度を強硬につくられたために、新たに提出されたこの会計については、予算の時に反対している。一貫して反対をしてきた制度だが、先の総選挙で、この制度を作った自・公政権は大敗し、この制度を廃止すると言った民主党が大勝した。

この制度は、高齢化が進む中で医療費の高騰を防ぐということにとどまらず、社会保障費をどう削減するかと考えて、先に削減ありきで作られた制度である。

年齢で自動的に加入する保険をわざわざ変えられて、受けられる医療や診療報酬の体系を別建てにするという、とんでもないもので、世帯割が1軒分でもよかったものが、2軒分払わされたり、国民年金しかない高齢者が、扶養から外されて、新たに保険料が発生するなど、とても評判が悪いものだった。その世論に動かされて、当初決まった保険料などを後追いで、小手先の改定を繰り返してきたのは、この制度に問題があったことをあきらかにしている。また、この保険の運営を県下の全市町村による広域連合で実施するというのも大きな問題点である。見切り発車でスタートしたこの制度のために作られた初めての会計を認めることはできない。

【賛成意見】 宮崎 議員

この後期高齢者医療制度は、国が定め、全国統一的に運営されている制度であります。県下でも全ての市町村で構成された広域連合が運営主体となり、町は、法令の規定に従い、その業務の一部を行っておられるものであります。また、この特別会計は、町が行うべき業務についての会計の収支、とりわけ、保険料の収入と、その保険料の広域連合への納付が中心となっているものであると思っております。

いくどかの制度改正が行われたなか、町においては、定められた業務を適切に遂行され、また会計の執行にあたっては、適正に処理されておられることが認められるものと考えています。このことから、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、特段に反対する理由はなく、よって賛成するものと考えております。

新政権の選挙公約では、この制度を廃止するとされているところではありますが、具体的な手法やスケジュールは、まだ示されていないようであります。今後どのような制度になるとしても、町には高齢者の相談などに丁寧に対応していただくようお願いします。

平成二十一年（二〇〇九年）

十二月定例議会の予定

11月

30日(月) 本会議初日

(提案説明、議案上程)
広報発行常任委員会

12月

3日(木) 一般質問

4日(金) 一般質問

7日(月) 建設水道常任委員会

8日(火) 厚生常任委員会

9日(水) 総務常任委員会

10日(木) 予算決算常任委員会

11日(金) 議会運営委員会

17日(木) 本会議最終日

(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。
すべて傍聴できます。

なお、開会時間は本会議、委員会とも午前九時に予定しておりますが（広報発行常任委員会は本会議終了後）、一部変更になる場合がありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局

電話 0745 (74) 1001 内線 3002

一般質問 Q &A

本定例会での一般質問は、9月3日・4日の両日、9人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

2日間で延べ24人の方が傍聴に来られました。

電波法に基づく基地局設置 住民の同意書が不可欠！



飯高 昭二 議員

議員 全国的に電磁波の悪影響から周辺住民との間で、トラブルが起きている。総務省

は、周辺住民に同意を得るよう指導しているだけで、もし、業者が周辺住民に周知せず、同意を得ることを怠っていたならば、大変重大な問題と考

えます。同意書の添付についての町の見解を伺う。

住民生活部長 総務省は、電波法に基づく携帯電話基地局などの申請について、周辺住民との同意を得るよう指導している。町としては、同意書



携帯電話基地局

を添付書類とすることが望ましいと考えています。

議員 電磁波問題は、基地局設置に伴う、地域住民への周知・同意書の添付と町への報告が不可欠です。電磁波で地域の生活や健康に悪影響が及ぶ恐れがある場合、科学的立証が不十分であっても「予防の原則」の立場から住民・学校・病院周辺には、防御策が必要で、地域の行政も見逃しては、ならないと考えます。

細菌性髄膜炎から 子どもの命を守れ！

議員 細菌性髄膜炎は、脳や脊髄（せきずい）にある髄膜に炎症が起る病気です。国内では、年間六百人の子どもたちが自然感染で発症し

患者の二十五％に知的障害や聴覚障害などの後遺症が残り、五％が死亡するという深刻な病気であると聞いています。

町の認識について伺う。

住民生活部長 近年、抗菌薬への耐性化が急速に進み治療も難しいため、予防のためワクチンの期待が高まっています。子どもの健やかな成長発達のためにも細菌性髄膜炎の予防は重要と認識しています。

議員 ヒブワクチン普及の課題として、高額な費用負担から「家庭の経済的理由で、乳幼児にワクチン摂取をあきらめる」こともあり、今後、公費助成を実施する必要があると考えますが。

町長 子育て支援の重要な施策と考え調査・研究をし、来年度より実施していきます。

その他の質問
※新型コロナウイルスの対策と動向について

ジャスコ閉店に伴う “買物難民”について



吉野 俊明 議員

議員 衣食住全般の買い物はもとより、喫茶店、銀行のATMなどもあり、日常生活の大概の用が足せたジャスコの閉店により、いちばん困られたのはここを徒歩で利用されていた高齢の方々ではないかと思えます。閉店の翌日からたちまち「買物難民」となった方々の足として、町のコミュニティバスも利用されることになったのですが、運行ルートと時間帯に難点があり便利とはいえません。改善の余地

はありませんか。

総務部長 現在一台のバスで運行しており、増便については財政的に困難です。ルートも定着しており変更は考えておりません。

議員 高齢の方々が屋根のないバス停で、炎天下や雨風の強い日に、排ガスを浴びながらバスを待つておられる状況を改善したい。奈良交通路線バスと町のコミュニティバスが共用するバス停に上屋を設置できませんか。

総務部長 共用するバス停の上屋設置の費用及びその維持管理費も全て町の負担となることから財政的に困難であると判断しております。

議員 「現在無料で運行されているコミュニティバスを、有料にすることだけは絶対やめてもらいたい」と利用者の方々から強く要望されました。町の考えを聞きたい。

総務部長 コミュニティバスの有料化については考えておりません。

議員 ジャスコ跡地や町西部に、食品スーパー開店の情報などは入っておりますか。

副町長 一切ありません。



新岩瀬橋工事と三室山（平成21年9月）

議員 大企業は、利用者の事情などはおかまひなしに経営上の判断で店を閉めてしまします。その時点では地域の小売店は淘汰されていて再開不能となっております。車を使えない買物難民の高齢者にとつて「通過車輛にやさしいバイパス計画」などは住民の生活を第一に考える「人にやさしい斑鳩町」のイメージとは矛盾するものです。

その他の質問
町内外からの来客が多い法隆寺iセンターにAED設置を要望し、前向きな回答を得た。

議員 七期目の町長選に出馬されます小町町長のマニフェストについて伺います。また、今までの反省点についてもお尋ねします。

町長 マニフェストの公表は後日にいたしますが、私は、①安心の子育て・教育②健康と福祉③環境と景観④文化遺産の保存と活用⑤安全と安心

「町長選出馬へのマニフェストについて」

政権交代が及ぼす 地方自治体への 影響について



浦野圭司 議員

⑥快適な住環境⑦町民が主役の健全財政運営をまちづくりの主要施策に掲げ、町の発展に尽くす所存です。

「財政健全化について」

議員 財政健全化を判断する指針である四指標をまず伺いし、次に健全化への実績をお伺いします。

総務部長 平成二十年度決算における健全化判断比率は、実質赤字比率が早期健全化基準十四・八三%に対しマイナス七・四五%で、対前年度改善率は二・九ポイントです。連結実質赤字比率が早期健全化基準十九・八三%に対し、マイナス一・七八%で対前年度改善率は四・三五ポイントです。実質公債費比率が早期健全化基準二十五%に対し、十一%で対前年度改善率は一・四ポイントです。将来負担比率が早期健全化基準三五〇%に対し、二十九・五%で対前年度改善率は〇・五ポイントです。全ての指標で改善しております。

「政権交代での地方への影響について」

議員 国政選挙で政権交代が現実化したのが、今後地方自治体へ、どのような影響が予想され、住民の生活はどのように変化していくと考えますか。

総務部長 子ども手当支給、農業の戸別所得補償、介護従事者の処遇改善、中小企業の法人税率引き下げ、求職者支援制度創設、地方への国の出先機関の廃止、後期高齢者医療制度を廃止し国民皆保険を守る等々、細部にわたってマニフェストを掲げておられますが、これら実現への具体策がまだ分からないので影響はこれから分析していきます。



政権交代がなされた 今後について



中川靖広 議員

算定できない状況でありま
す。また、配偶者控除の廃止
につきましては、町民への周
知が大きな課題と考えており
ます。

次に景気対策や農業では、
子ども手当支給、農業の戸別
所得補償、介護労働者の処遇
改善、中小企業の法人税率を
十一％に引き下げる減税につ
きましても、法案が具体化し、
市町村への影響が明らかに
なった段階で分析できるもの
と考えております。

議員 民主党の政権公約を
行された場合、当町の事業に
どのような影響を及ぼすの
か？

総務部長 主な項目別にマニ
フェストを見てみますと、ま
ず財政では所得税の配偶者控
除の廃止や租税特別措置法の
見直しでの二、七兆円の税収
増がございました。これの市町
村への影響は、租税特別措置
の見直しによる町税への具体
策がなく、町税への影響額は

次に地方分権では、国の出
先機関の廃止、国から地方へ
の補助金を廃止し地方が自由
に使える一括交付金として交
付、国と地方の協議の場を法
律に基づいて設置などがあり
ますが、該当する補助金が明
らかでなく、交付金の算定も
明らかでない状況で、市町村
への影響は算定できない状況
となっております。

次に子育て・教育では、中
学校卒業まで一人当たり月額
二万六千円の支給、子ども家
庭省の設置などがあります
が、制度導入が決まれば適切
に事務処理を行いたいと考え
ております。次に医療では、

後期高齢者医療を廃止、被用
者保険と国民健康保険を段階
的に統合するとありますが、
制度改正では、常に市町村に
その事務のしわ寄せが大きな
ものとなりますが、財政的及
び人的な負担が大きくなるな
いように関係機関に要望した
いと考えております。

議員 配偶者控除の廃止にと
もない増税となる世帯はどれ
ぐらいになるのか？

総務部長 国全体で四割から
五割になると聞いておりま
す。

議員 それだけの世帯で増税
になるのであれば町としての
対策も考えていただきたい。
また町民の皆さまへの対応に
ついては親切、丁寧を基本に
心がけて
いただく
ように申
し上げて
おきま
す。



町民税・県民税の納税通知書

斑鳩町のマスケット パゴちゃんについて



伴吉晴 議員

議員 来年の平城遷都一三〇
〇年祭でパゴちゃんが活躍す
る場面が増えると考えられる
が、どのようにパゴちゃんが
活躍するのかを伺う。

平城宮跡会場においても催事
会場でのイベント開催時には
パゴちゃんの参加を予定して
います。

都市建設部長 パゴちゃんの
活躍の場についてですが、平
城遷都一三〇〇年祭が二〇一
〇年の寅年にあたることか
ら、寅を祀っている信貴山に
おいてオープニングイベント
が開催されます。その催しで、
当町のマスケットキャラクター
ターパゴちゃんが、せんとく
んとともに、より一層観光の
振興として、斑鳩周辺の観光
地域を一体的、また戦略的に
日本各地に向け、情報発信を
して盛り上げていきたいと考
えます。

議員 今、まちのキャラク
ターブームだと思っております
が、パゴちゃんが、斑鳩の観
光産業やまちの活性化の起爆
剤になってくれるように、町
行政として、パゴちゃんに対
する思いを伺う。

都市建設部長 パゴちゃん
グッズについては、斑鳩町観
光協会において、現在はパゴ
ちゃんのストラップとシャー
ペンシルを作成し、法隆寺
iセンターや法隆寺駅等で販
売しています。今年度はさら
に、パゴちゃんのボールペン
と絵葉書を新たに作成する予
定になっており、斑鳩町を訪

また、平城遷都一三〇〇年
記念事業のメイン会場である



パゴちゃん

れる観光客の方にも、パゴちゃんにより親しんでいただけるものと期待しております。

まちの活性化を図るためにパゴちゃんにより一層前に出してもらい、盛り上げていきたいと考えているところです。

議員 パゴちゃんに大活躍してもらって、斑鳩のまちをPRし、斑鳩町の財政にプラスになるように、町行政として全面的にパゴちゃんをバックアップしていただくことを切に希望いたします。

その他の質問

※誰もが、安心して外出できる、まちづくりについて

※斑鳩町の生活道路整備計画について

斑鳩町の小中学校における 新型インフルエンザ 対策について



紀 良 治 議員

ました。

議員 学校の臨時休業等で、授業日数、時間が不足する場合、その対応についてはどのように対応されますか。

教育長 臨時休業等による授業日数、時間不足については、授業時間の延長や冬季等、休校中に補充すること等、学校長の判断で弾力的な対応を図るよう指導します。

町立幼稚園・小中学校の普通教室への空調設備の設置について

の対象としています。町内の幼稚園・小中学校の普通教室に空調設備の設置ができないのでしょうか。

教育長 斑鳩町としては、平成二十六年までの計画で校舎の耐震補強工事を進めており、来年度も四棟の校舎等の耐震補強工事を行う予定をしています。空調設備の設置については、国庫補助がありませんが、かなりの費用がかかりますことから、耐震補強との兼ね合いもあり、今後、検討していきたいと考えます。

議員 耐震補強は最優先ですが、斑鳩町の子どもたちが学習しやすい環境を整えるため、近隣の市町村のように普通教室への扇風機設置を検討いただけるようお願いいたします。

議員 新型インフルエンザ感染症発生動向調査で、奈良県は定点あたり報告数が二、九六と高い数値を示しているが対策をお考えですか。

教育長 予防対策を指導するとともに、学級閉鎖や学年・学校閉鎖は県の基準に応じて行います。また保護者には、斑鳩町新型インフルエンザ対策本部と斑鳩町教育委員会の連名で新型インフルエンザ感染症防止について文書を配布し



議会は役場3階です

議会を傍聴してみませんか！

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめ下さい。また、会議録は庁舎ロビーや公民館、斑鳩町立図書館でも閲覧できます。

みなさんのご意見やご要望をお寄せ下さい。
(宛 先) 〒636-0198 斑鳩町法隆寺西3-7-12
斑鳩町議会事務局
TEL 74-1001 FAX 74-1011
役場3階・議会事務局前に、ご意見箱「こだま」を設置しています。

妊婦健診の完全無料化を



木澤正男 議員

お持ちでしょうか。

町長 今後の新政権の動向を見守らなければなりません。が、もし国が公費助成を打ち切ったとしても、町独自で十五回の助成は継続します。

議員 その考え方については評価いたします。

また別の問題として、現在の公費助成制度を利用して、実際に妊婦健診を必要回数受けようとすれば、数万円の自己負担が発生します。より安心して、妊婦健診を受けられるよう、妊婦健診の完全無料化を前向きに検討すべきではないでしょうか。

住民生活部長 妊婦健診の重要性・必要性が一層高まっていることは認識しています。

が、妊婦健診は自由診療となっており、医療機関によっても健診方法や内容、回数、費用が異なることもあり、一律に全額負担を行うことは、一人あたりの助成額に差が生じることになります。また、現在は県内統一の「補助券方式」で実施しており、県内の登録

議員 これまで、妊婦が費用の心配無く安心して出産できるようにという観点から、妊婦健診への公費助成は大きく前進し、現在では、国の方針として十四回、更に斑鳩町ではそれに上乗せして十五回の公費助成を行っており、大変喜ばれています。しかし、国の公費助成は二年間の期限付きです。もし国の公費助成が二年間で打ち切られたとしても、町独自で十五回の公費助成を続けていくという考えは

医療機関すべてで受診することができると、妊婦にとつて利点も大きいと考えており、今のところ全額助成は考えていません。

議員 現在、茨城県の大子町というところが、町独自で妊婦健診の完全無料化を実施しているのので、今後、研究・調査していただきたいと思えます。また、国や県に対しても更に声を上げ、完全無料化実施を検討いただくよう強く要望します。

その他の質問
 ※ インフルエンザ対策について
 ※ 火葬場の使用について

※ 環境保全推進委員の活動について

妊婦健康診査基本券(1回目)

発行番号 21130

妊婦健康診査基本券(1回目)

下記妊婦健康診査基本券の費用について次の金額の補助をします。

平成 年 月 日

妊婦健康診査の長 小嶋 正樹

2,500円券

※本券は妊婦本人のみに、妊婦健康診査受診時に限り有効です。

妊婦氏名	姓	名
生年月日	昭和 年 月 日	出生
電話番号		
妊婦健康診査受診日	平成 年 月 日	自
発給機関の名称・所在地		
発給番号		
発給者は保健師の氏名		

妊婦健康診査補助券

町財政を

立て直すために



西谷剛周 議員

議員 小城町長が、前町長から引き継いだ時の借金はいくらか。

総務部長 八十四億五千三百万円です。

議員 現在の町の借金はいくらあるのか。

総務部長 百九十三億六千六百万円です。

議員 家庭で言えば、収入に対し食糧費・光熱水費・住宅ローンなど、絶対にいる費用の割合を示したのを、「経常収支比率」と言います。一般的に弾力的な財政運営をするには、八十五%と言われますが、斑鳩町が九十%以下になるのはいつごろか。

総務部長 平成二十年度で九十四%、二十五年に八十九%・五%になるが、その後は増加傾向にある。当面の目標であ

る九十%前後が適当であると考えます。

議員 将来に禍根を残さない財政運営をして貰いたい。次に現在の財政状況の原因は、二十四年の小城町長の長期政権の結果だと思うが、その原因はどこにあると考えているのか。

総務部長 かかるがホールや福祉会館、ふれあい交流センターなど、住民に不可欠な事業をしてきた結果であると考

えます。
議員 町財政は均衡財政を最優先し、多額の借金を次世代に押し付けるような無責任な町政をしてはならないと思

う。
 しかし、斑鳩町の今の借金は、金額からいっても、小城町長の箱物行政のツケであ



る。しかも総額四百三十億円という公共下水道事業を始め平成三年からも箱物行政を続けているが、誰がこんな箱物を建てて欲しいと願ひ、誰が得をしたのかと、多くの町民の声がある。また、これらの箱物の総額は百二十六億円で、そのほとんどが百分に近い落札率という異常さである。

私は、税金の無駄遣いをなくすためにも、入札制度の改革は、真つ先に取り組むべき課題だと思ふが、町長は一般競争入札をするつもりはないと理解していいのか。

副町長 西谷議員の指摘通り順次入札改革を行ってきたつもりです。

政権交代は地方政治にどう影響する？



里川 宜志子 議員

からない状況だが、これまで重要な案件で地方に意見を聞くという時には、地方六団体（知事会・県議長会・市長会・市議長会・町村会・町村議長会）に対して、公聴会という形で行ってきたので、それを踏襲されるのではないかと考えている。

議員 政権交代により、いろいろな制度改革が見込まれるが、それに伴い、パソコンのソフトの更新という多額の費用がかかる。この財源の確保をきちんと国に要求することや、住民の悩みや問題を直接聞く市町村の意見を風通し良く、国に届くよう努めてほしい。また、補助金制度をなくして一括交付金を導入する考え方が示されているが、これも十分な検討が必要な問題であることから、早く情報をキャッチして意見を上げていってほしい。

教員免許更新制度について

議員 教師の資質向上として始まったが、何故、こんなやり方になるのかわからないと

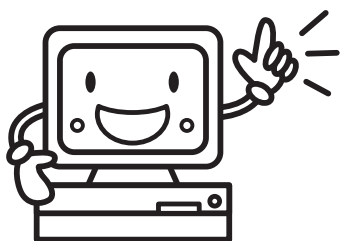
総務部長 詳細についてはわ

いう制度である。小中学校の町費講師、幼稚園の教諭・講師、幼稚園教諭の免許を持っている保育士等の対応はどうなっているのか。

教育長 三十時間の講習が必要だが、それを行う大学などの情報と更新の期限の管理などを各学校できちんと行い、職権で行ってもらうことにしている。

議員 子どもにしわ寄せがいかないようにすること、個人負担の費用が高いことが、臨時職員扱いの先生方にとっては大変である。

その他の質問 ※ 町長選挙の年であることから、町政の課題に対する町長の見解・姿勢について



議会だよりが斑鳩町ホームページで閲覧できます。

斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp>)で、町議会をクリックしてください。

NO.52 (平成19年5月1日発行) からのバックナンバーも閲覧できます。

建

設水道常任委員会

九月十日全委員出席のもと、本会議から付託を受けた一議案を慎重に審議した結果、この議案（陳情第一号）は継続審査とすべきものとなりました。

また都市基盤整備事業に関することについての継続審査事案などについて調査をしました。その主な内容についての概要を報告いたします。

委員会付託議案について

◎ 陳情第一号、公共下水道事業に関する陳情について

（陳情書の要点）

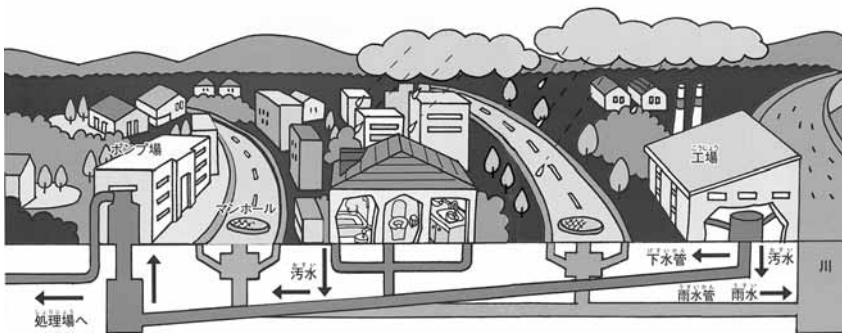
- ① 公共下水道加入負担金を町民負担としている条例の撤廃を求める。
- ② すでに納入された加入負担金を町民に還元するよう求める。
- ③ 下水道料金を見直すために入札制度を改善することを求める。

④ 町指定業者以外でも排水設備工事ができるよう条例の一部改正を求める。
委員より、
問 いったん条例が制定され、その後変更された場合、それまで徴収された負担金が返還された事例は今までにあったのか。
答 過去にありません。
問 下水道加入負担金について、工事前の住民説明会は、充分理解を得るものであったのか。
答 下水道事業について充分

説明してきました。広報紙でも重ねて事業内容の説明を掲載しました。

問 陳情書の署名人数がかなりの数なので、慎重に取り扱うべきである

等々の質疑があり、今後議論を深める意味で、継続審査としました。



下水道のしくみ

継続審査案件について

◎ 公共下水道事業に関することについて

八月二十七日に入札した五路線のうち三路線に低入札価格入札があり、慎重に調査していく。また、公共下水道接続申請状況は、八月三十一日現在で千八百九件であるとの報告がありました。

委員より、入札率はいずれも七十%に近いものであり、適切な利潤をもって工事がされると考えにくいので、審査を慎重にしてもらいたい、等の意見がありました。

◎ 都市計画道路の整備促進に関することについて

いかるがパークウェイの岩瀬橋橋梁工事は八月下旬に橋桁が架けられた。都市計画道路法隆寺線で、国道二五号線との取り付け口については、交渉中である、との報告がありました。

その他の質疑について

- ① 岡本地区の循環道路計画について
- ② 大和川等の河川の堤防草刈後の刈り草焼却処分について
- ③ 昭和橋の歩道が降雨後に水溜まりが多く、歩行に支障をきたすので、これの改善について
- ④ 追手町宮住宅南側の町有地の土地利用について
- ⑤ 龍田三丁目(旧龍田街道)の町道はみだし設置物の排除について

委員より質疑があり、理事者より一定の答弁がありました。

（浦野委員長記）

本会議から付託を受けた3議案と継続審査案件などの審査を行うため、9月11日(金)に全委員出席のもと、委員会を開催しました。

厚生常任委員会

町から提案された二件は
全会一致で可決

・議案第三十一号、斑鳩町立学童保育室条例の一部を改正する条例について

学校の長期休暇(春・夏・冬休み)のみ保育を希望される場合の使用料を利用日数により、月額を半額にするという内容であるが、転入者の途中入室などの対応も必要であるとの意見があり、今後の検討課題となりました。

・議案第三十二号、斑鳩町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

子育て支援の観点から、経過措置の改正で、平成二十一年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの間の出産育児一時金を三十五万円から三十九万円に増額するというものです。これについては、住民への啓発を積極的に行うようにという意見がありました。

陳情第二号
請願書については継続審査

龍田三の一自治会から提出された陳情についての審査結果について

携帯電話の電波基地設置に關して健康被害があり、今後は設置する場合は、町の条例等で「事業者が住民に告知するようにしてほしい」というものです。

・町が相談を受けた経過
・同様の問題があった兵庫県川西市の解決までの経過
・設置事業者への町の対応
・健康被害がある住民の対策
・契約の期限
などの質疑があり、町から説明を受けたあと、陳情書の取り扱いについて委員みなさんの意見を聞きました。

結論として
・陳情にある条例は全国的にも例がないが、調査・研究すべきである。
・契約途中での撤去となると、損害補償が発生するなどの問題もあるが、健康被害も重要な問題であり、行政や議会が

何ができるのか、十分勉強し、

掘り下げていくべきである。

・川西市が行った事業者への要望を当議会でも行うこと。

・上位法で、国に申請され、国が許可をし、建設されるまで町は全くわからないことなどのシステムの問題への対応について

以上のような意見があり、継続審査の手続きをとって、引き続き調査をすることになりました。



町からの報告事項について

をさぐり、若者の問題についても検討するよう意見があった。

・新型インフルエンザについては、県の対応が変わったことを受けての町の体制や今後の取り組みについて説明があり、新たなチラシを各戸配布するが、委員より、土、日曜の連絡体制や休日診療所の役割などの要望があった。

・民間建築物吹き付けアスベスト等分析調査事業の募集については国の補助事業であり、要綱を設けるものである。

・幼児二人同乗用自転車購入費助成制度について

幼児二人を乗せた自転車の三人乗りを禁止していたものが、一定の要件を満たした自転車に限り認めるという改正があった。この自転車が高価なこともあり、安全確保、子育て支援の観点から、平成二十二年一月から購入に助成制度を設けるといふものである。

・次世代育成支援計画の策定
次世代育成支援対策推進法に基づき、平成十七年に町で策定した「次世代育成支援行動計画」の平成二十一年度までの前期計画の見直しをして平成二十二年からの後期計画を策定される。今後の取り組みでは、子どもの貧困の現状、アンケートに現れない問題点

(里川委員長記)



務常任委員会

閉会中の八月二十日並びに九月定例会開会中の九月十五日に総務常任委員会を開会し、継続審査案件であります「斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査整備保存に関する事項について」及び、各課よりの報告事項について必要な審査を行いました。

ふるさと納税について

平成二十年度における斑鳩町のふるさと納税（主に他市町村に住居しておられる方々からの斑鳩町への寄付金）の受入状況は、個人及び団体等、四十三名の方々から、九十四万三千三百十三円でした。

他の市町村では、多いところでは一千万円近く寄付を受けておられるところもあると聞いています。まだまだ、この「ふるさと納税」という寄付制度が浸透していないとは



思いますが、全国のみなさんに積極的に斑鳩の良さを発信していただくことが大切なことであると思います。

町民体育大会のアンケート結果について

本年度の町民体育大会は残念ながら雨で中止となりましたが、町では、今後の町民体育大会が誰もが参加しやすく、よりよい大会にしていくため、どのような点を改善すべきかなどについてのアンケートを実施されました。

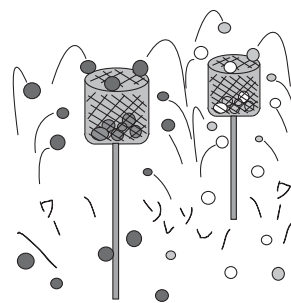
回答者総数は千四十二名であり、大会を「よい」と思う人一九七名、「よくない」と思う人三百八十名、「どちらともいえない」が四百六十五名でした。

「よい」の理由としては、「運動に親しめるから、家族で楽しめるから」「地域の人たちと交流が持てる」「自治会がひとつになれる」等がありました。

「よくない」の理由としては、「個々のニーズが多様化し、高齢者が増加している地域が多い中、参加者を募るのが困難になっている」「今の形態の開催は役割を終えたと思う」「自由参加で親子で楽しめる内容がよい」等の意見

がありました。

今後はこのアンケート結果を踏まえ、大会の実行委員会と本大会の在り方や、よりよい町民体育大会の開催に向け、検討・審議されることとなります。



斑鳩町子ども模擬議会について

八月十八日、午前九時三十分から正午まで、小学校六年生と中学校一年生の計十六名が、町議会議場において、子ども模擬議会（斑鳩町についての意見や希望の発表）が開催されました。

議題は、「未来の斑鳩町について」であり、一日議員としての質問は、「斑鳩検定など観光地としてのアピールや観光客にやさしい町・斑鳩と

しての発信について」「安心して登下校できるバリアフリー化した校舎の希望」「給食の食器の改良について」「美しい町並み保存のための電柱の地中化」「ジャスコ閉店に伴う大型スーパーの誘致」「福祉・健康のための町民参加の推進の啓発」「水族館や自然博物館を複合した大規模な自然公園の設置」など、学校問題、観光問題、自然環境問題、生活問題等、多岐にわたって質問や意見が出されました。

（嶋田委員長記）



子ども模擬議会

9月16日(水)全委員出席のもと、本会議から付託を受けた補正予算の5議案について審査を行うため委員会を開催しました。

予 算決算常任委員会

国の経済対策に伴う補正予算5議案を可決

今回の補正予算は、国の経済危機対策による地域活性化・経済危機対策臨時交付金や地域活性化・公共投資臨時交付金を活用するとともに、安全・安心な学校づくり交付金や、新学習指導要領教材整備補助金等の国庫補助金を活用する補正が主なものでした。

◎平成二十一年度斑鳩町一般会計補正予算(第四号)について

総額八億六千五百六十二万円の増額補正です。
主なものは、公共施設の地上デジタル放送対策の備品購入費や公用車の更新費用、子育て応援特別手当の交付、新型インフルエンザ対策費用、



女性特有のがん検診の実施費用、観光ルートサインの整備や観光駐車場のトイレ整備にかかる費用、小・中学校の耐震補強にかかる経費、小・中学校の情報ネットワーク整備や新学習指導要領に対応する理科備品の購入費などです。

問 国の経済危機対策を活用する事業が多いが、政権交代による予算凍結の心配はありませんか。

答 今後の情報収集に努め、万全の態勢をとって事業を進めることにしています。

問 公用車や地上デジタル放送対応のテレビ等を購入した場合に、交付金が切られた場合、町が負担することになるのではないですか。

答 国の動向が決まった段階で事業を執行していきます。そうでないと、町の一般財源の投入が考えられるので、慎重に対応していきたいと考えています。



◎平成二十一年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)について

主なものは、歳入では前期高齢者交付金等の確定による補正、歳出では出産一時金の増額等に係る補正です。

問 出産一時金として出産件数の増加を何人と見込んでいるのですか。

答 当初予算で三十人と見込んでいましたが、今回の補正では四十二人と見込んでいます。

◎平成二十一年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第二号)について

主なものは、平成二十年度決算による繰越金の確定等による補正です。

◎平成二十一年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)について

出納整理期間に収入した平成二十年度の保険料を平成二十一年度会計に繰り越し、後期高齢者医療広域連合に納付することによる補正です。

◎平成二十一年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第二号)について

地域活性化・経済危機対策臨時交付金による地上デジタル放送対策の備品購入費等です。

以上、すべての議案については満場一致で可決すべきものであると決しました。

その他

◎草刈中にはねた小石による、通行車輛に対する窓ガラス破損事故について

(木田委員長記)



▲斑鳩幼稚園



▲斑鳩南中学校

みんな がんばった 運動会



▼あわ保育園



▲斑鳩西小学校

編集後記

晩秋の候、いかがお過ごしでしょうか。去る八月三十日投票の衆議院選挙で民主党が圧勝し、政権交代となりました。今後、政権公約を実行されるわけですが、そのなかには、配偶者控除の廃止や租税特別措置法の見直しで、国としては二・七兆円の税収増を見込んでおられます。この政策を実行された場合、私の家庭で試算いたしますと、なんと、今納めている税金以外に、年額四十七万一千二百円も増税になります。たいへん厳しい状況になります。このように増税になる世帯が四割から五割もあるそうです。半数近い世帯で増税になり、どうして景気が良くなるのでしょうか。



この編集後記を書かせていただいているのは十月初旬ですが、皆様のお手元に配布されますのは、十一月初旬になります。そのときには十月十八日投票の町長選挙も終わり、新たな町長が決まっているわけですが、今後も住民福祉・子育て支援・教育・福祉の発展・農業の発展・都市基盤整備・環境・健全な財政運営に努めていただくことを期待するとともに、町議会といたしましては、住民の代表として厳しく監視してまいります。

住民の皆様方には向寒の折、お身体を大事になさってください。

(中川委員長記)

広報発行常任委員会

- 委員長 中川 靖広
- 副委員長 吉野 俊明
- 委員 宮崎 和彦
- 委員 伴 吉晴
- 委員 飯高 昭二